

お客様各位

REP No. DRIVE2022A-001

2022年4月
富士電機株式会社

MONITOUCH

作画ソフト「V-SFT-6」バージョンアップのご案内

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、弊社製プログラマブル表示器「モニタッチ」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて掲題の件、この度、モニタッチ作画ソフト「V-SFT-6」のバージョンアップを行いましたので、ご案内申し上げます。

- 記 -

1. 製品型式

V-SFT-6

2. バージョン

Ver. 6.1.6.0

3. 変更内容

パッケージされる各バージョンは以下となります。

シリーズ	項目	変更前	変更後
作画ソフト	V-SFT-6	6.1.5.0	6.1.6.0
V9 シリーズ	本体プログラム	2.500	2.600
	OS	4.30	4.40
SignAiEdge	本体プログラム	2.400.1.60	2.600.1.60
	OS	3.52 SignAiEdge	4.40 SignAiEdge
V8(UG40)シリーズ	本体プログラム	2.390	2.390 (変更なし)
TS2060 シリーズ	本体プログラム	2.390	2.390 (変更なし)

4. 追加機能一覧

1. 接続機器（通信ドライバ）追加

- 1.1. X1/V9/V8/TS シリーズ：三菱電機 FX5U/5UC シリーズ(シリアル/Ethernet) 接続可能機種追加
- 1.2. X1/V9/V8/TS シリーズ：ジェイテクト TOYOPUC-Nano(Ethernet) 接続可能機種追加
- 1.3. X1/V9/V8/TS シリーズ：アズビル NX(CPL)(Ethernet TCP/IP) 接続対応
- 1.4. X1/V9/V8/TS シリーズ：神港テクノス PCB1 シリーズ 接続対応
- 1.5. X1/V9/V8/TS シリーズ：神港テクノス JIR-301-M シリーズ 接続対応
- 1.6. X1/V9/V8/TS シリーズ：神港テクノス BCx2 シリーズ 接続対応
- 1.7. V9 シリーズ：日立製作所 HIDIC-S10/ABS マルチリンク 2(Ethernet) 対応

2. 機能追加

- 2.1. X1/V9 シリーズ：表示/非表示設定の表示条件拡張
- 2.2. X1/V9 シリーズ：アラームパラメータ数の拡張
- 2.3. X1/V9 シリーズ：PDF ビューア機能拡張
- 2.4. X1/V9 シリーズ：IF(MULTI)マクロの拡張
- 2.5. X1 シリーズ：2 分割表示対応
- 2.6. X1 シリーズ：アプリケーション起動機能拡張（表示位置/サイズ指定対応）
- 2.7. X1 シリーズ：USB メモリへの Read/Write 対応
- 2.8. X1 シリーズ：タスク一覧/システムキーボード表示機能拡張
- 2.9. X1 シリーズ：ライトフィルタ機能拡張
- 2.10. X1 シリーズ：SystemConfigurator に再起動ボタン追加
- 2.11. X1 シリーズ：SystemConfigurator にサウンド設定ボタン追加
- 2.12. X1 シリーズ：ローカル画面の I/O チェックにディスプレイ接続状態の表示対応
- 2.13. X1 シリーズ：ローカル画面のシステム情報にマルチディスプレイ設定情報の表示対応
- 2.14. X1/V9 シリーズ：PLC デバイス転送機能に定周期読込を追加

3. 作画ソフト

- 3.1. サポート OS の変更（Windows 11：サポート、Windows XP：サポートから除外）
- 3.2. タグ名一括変更機能の追加
- 3.3. Siemens TIA Portal V17 インポート対応
- 3.4. ファイル比較時の不一致箇所へのジャンプ機能追加
- 3.5. 環境設定項目の追加（V-SFT タイトルバー：画面データ名を先頭に表示）
- 3.6. プロジェクトビューに右クリックメニューの追加
- 3.7. マルチディスプレイ 画面データ読み出し時の仕様改善
- 3.8. MICREX-SX SPH3000MM/SPH5000M(IEC モード)の E-SX バス用デバイス指定対応
- 3.9. 画面データ送受信パスワードの動作仕様変更
- 3.10. Siemens TIA Portal V17 インポート対応

5. バージョンアップスケジュール

2022 年 4 月 1 日出荷分よりバージョンアップ

6. 添付資料

V-SFT Ver. 6.1.6.0 バージョンアップ情報

V-SFT Ver. 6.1.6.0 バージョンアップ情報

	V9	TS2060i/TS2060	V8i(N)/V8(N)	X1
本体プログラム	Ver. 2.600	Ver. 2.390	Ver. 2.390	Ver. 1.300 *2
OS	Ver. 4.40 *1			



*1 アップデートするには、ストレージが必要です。

*2 X1のアップデートプログラムはホームページからダウンロードしてください。アップデート手順は同梱の『アップデート手順書』を参照。

接続

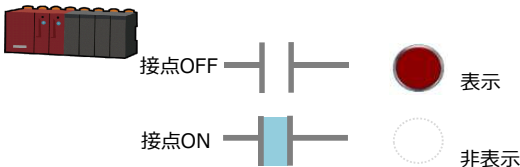
- 接続可能型式追加** : 三菱電機 FX5U/5UCシリーズ FX5UJシリーズ対応
 対応機種 : V9/TS2060i/TS2060/V8i(N)/V8(N)、X1
 接続機種 : 三菱電機 FX5U/5UCシリーズ(Ethernet)
 三菱電機 FX5U/5UCシリーズ
- 接続可能型式追加** : ジェイテクト TOYOPUC-Nano(Ethernet) TOYOPUC-Nano 10GX対応
 対応機種 : V9/TS2060i/V8i(N)、X1
 接続機種 : ジェイテクト TOYOPUC-Nano(Ethernet)
- 接続可能機種追加** : アズビル NX(CPL)(Ethernet TCP/IP)
 対応機種 : V9/TS2060i/V8i(N)、X1
 接続機種 : アズビル NX(CPL)(Ethernet TCP/IP)
- 接続可能機種追加** : 神港テクノス PCB1シリーズ
 対応機種 : V9/TS2060i/TS2060/V8i(N)/V8(N)、X1
 接続機種 : 神港テクノス PCB1 Series
- 接続可能機種追加** : 神港テクノス JIR-301-Mシリーズ
 対応機種 : V9/TS2060i/TS2060/V8i(N)/V8(N)、X1
 接続機種 : 神港テクノス JIR-301-M Series
- 接続可能機種追加** : 神港テクノス BCx2シリーズ
 対応機種 : V9/TS2060i/TS2060/V8i(N)/V8(N)、X1
 接続機種 : 神港テクノス BCx2 Series
- 接続機種仕様拡張** : 日立製作所 HIDIC-S10/ABS マルチリンク2(Ethernet)対応
 対応機種 : V9
 接続機種 : 日立製作所 HIDIC-S10/ABS

機能

- アイテム表示/非表示設定** 表示条件 : ビットOFF
 対応機種 : V9、X1

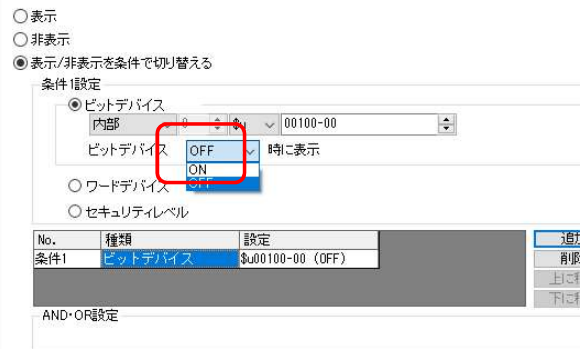
【概要】

ビットデバイスの表示条件にOFFが追加されました。
 OFF : 表示、ON : 非表示の動作が可能です。
 アイテムごとにPLCのラダー制御に合わせた画面作りが可能です。



【設定箇所】

各アイテム → [表示・非表示] → [表示/非表示を条件で切り替える]
 → 「ビットデバイス : OFF時に表示」



- アラーム パラメータテーブル数 8→32へ拡張**

対応機種 : V9、X1

【概要】

[システム設定] → [アラームサーバ] → [アラームデバイス] → [パラメータ] にて、アラーム1点につき、最大32個のパラメータが登録できます。

3 PDFビューア 仕様拡張

対応機種：V9

* 詳しくは『V9リファレンスマニュアル2』参照

【概要】

スイッチ/PLC指令において、PDFの格納先が指定可能です。
また、ファイル名のデバイス指定もできるため、
ユーザの運用に合わせた使い方ができます。

【設定箇所】

スイッチの場合

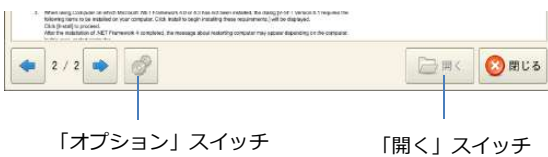
スイッチダイアログ → [機能：PDFビューア表示]

PLC指令の場合

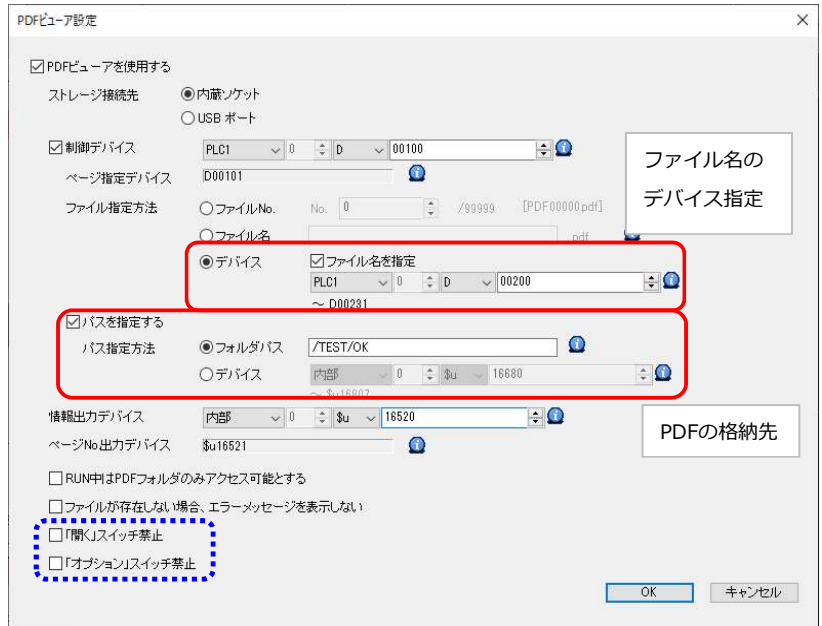
[システム設定] → [その他] → [PDFビューア設定]

【補足】

PDFビューア上の「開く」/「オプション」スイッチ
を無効にできます。
ビューア上の不要なスイッチを隠すことで、
ユーザの誤操作防止につながります。



例：PLC指令の場合



4 マクロコマンド IF (MULTI) の仕様拡張

対応機種：V9、X1

【概要】

マクロコマンド IF (MULTI) の条件を2→4に拡張しました。

また、IF (MULTI) のマクロ内に再条件分岐マクロコマンド IFELSE (MULTI) も使用できるようになり、複数条件にわたる煩雑な処理も各々1行で済みます。

赤文字：NEW！

例：再条件分岐 IFELSE (MULTI)

IF ((条件① AND/OR 条件②) AND/OR 条件③) AND/OR 条件④ THEN

(1)

IFELSE ((条件a AND/OR 条件b) AND/OR 条件c) AND/OR 条件d THEN

(2)

ENDIF

各々最大4つまで条件指定可

【使用例】

IF(\$u100 >= 100) OR (\$u200 < 20) AND (\$M0 >= 0) AND (\$M0 < 10) THEN (W)

条件① 条件② 条件③ 条件④

\$u200 = \$u200 + 1 (W)

IFELSE(\$u100 <= 0) OR (\$u200 > 100) OR (\$u300 == 0) OR (\$u400 != 100) THEN (W)

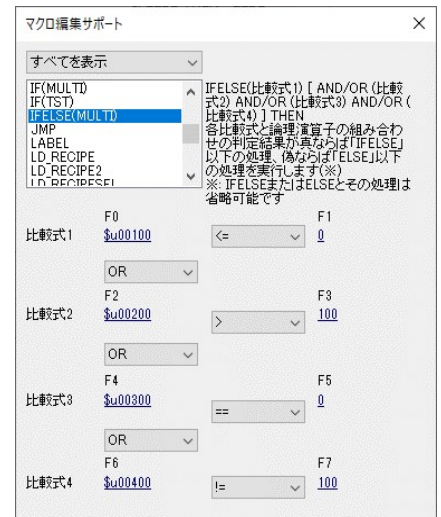
条件a 条件b 条件c 条件d

\$u100 = \$u100 + 1 (W)

ENDIF

\$u100が100以上 (条件①) または\$u200が20未満 (条件②) かつ\$M0が0以上 (条件③) 10未満 (条件④) の場合、
\$u200を1インクリメントします。

上記条件①～④が不成立で、\$u100が0以下 (条件a) または\$u200が100より大きい (条件b) または\$u300 が0 (条件c) または
\$u400 が100以外 (条件d) の場合、\$u100を1インクリメントします。

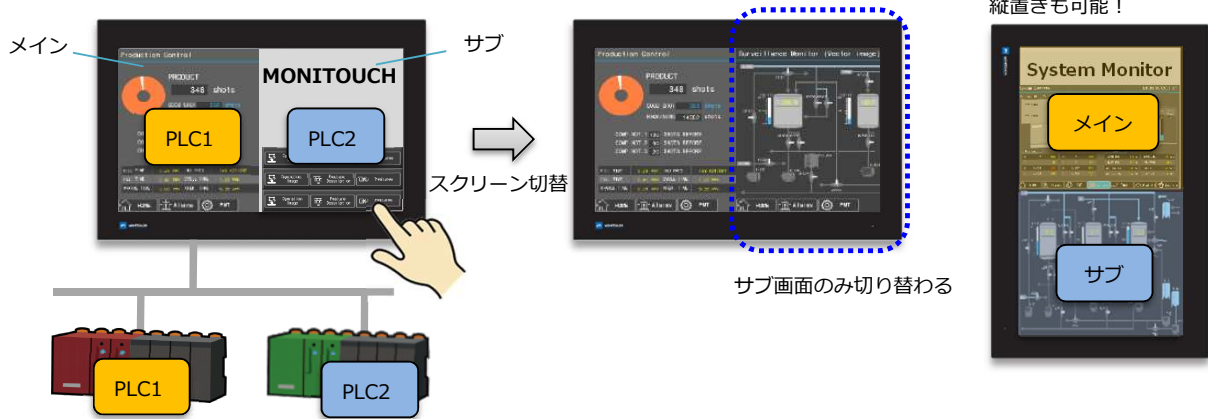


5 マルチディスプレイ 2分割表示

対応機種：X1

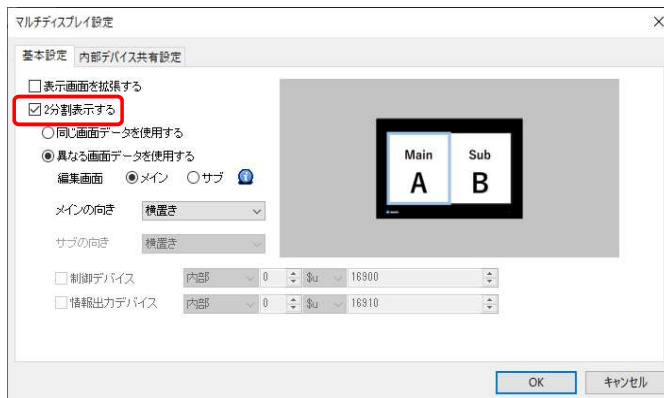
【概要】

X1上にX1アプリを2つ起動し、画面を左右（横置き）または上下（縦置き）に2画面表示させ、それぞれ独立して画面表示/操作が可能です。スペースを取らず、さらにコスト削減にもつながります。

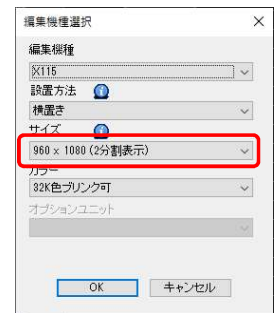


【設定箇所】

[システム設定] の [その他] → [マルチディスプレイ設定] または [ハードウェア設定] → [マルチディスプレイ] → [2分割表示する] にチェック



* [編集機種選択] → [サイズ] は半分になります。



* 詳しくは『X1リファレンスマニュアル2』15 マルチディスプレイ参照

【補足】

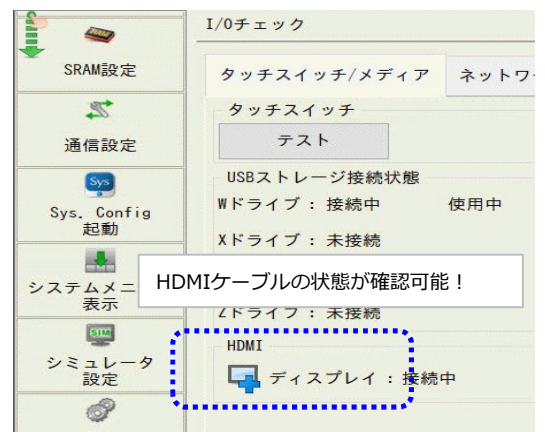
ローカル画面で、マルチディスプレイの設定状況や外部ディスプレイ使用時の接続状態が確認できます。

・ [システム情報] → [画面データ情報]



マルチディスプレイの使用状況やメイン画面、サブ画面の判断が可能！

・ [I/Oチェック] → [タッチスイッチ/メディア]



6 アプリケーション起動 表示位置/ウィンドウサイズ指定と2分割表示 (ユーザアプリ専用領域)

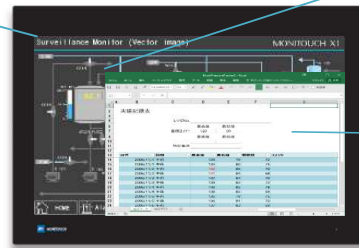
対応機種 : X1

■ 表示位置/ウィンドウサイズ指定

【概要】

ユーザアプリケーションの表示位置、ウィンドウサイズを指定できます。X1の画面レイアウトにあった表示位置、サイズで運用できます。スイッチ機能とPLC指令の両方で可能です。

(0, 0) 例 : X115



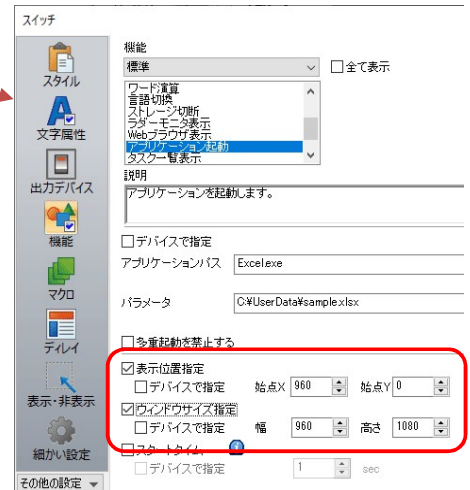
表示位置
始点X,Y (500, 250)

ウィンドウサイズ
幅、高さ (1420, 830)

【設定箇所】

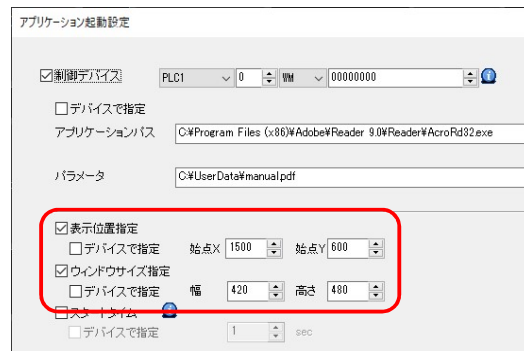
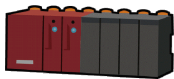
スイッチの場合

スイッチダイアログ → [機能 : アプリケーション起動] → [表示位置指定]、[ウィンドウサイズ指定]



PLC指令の場合

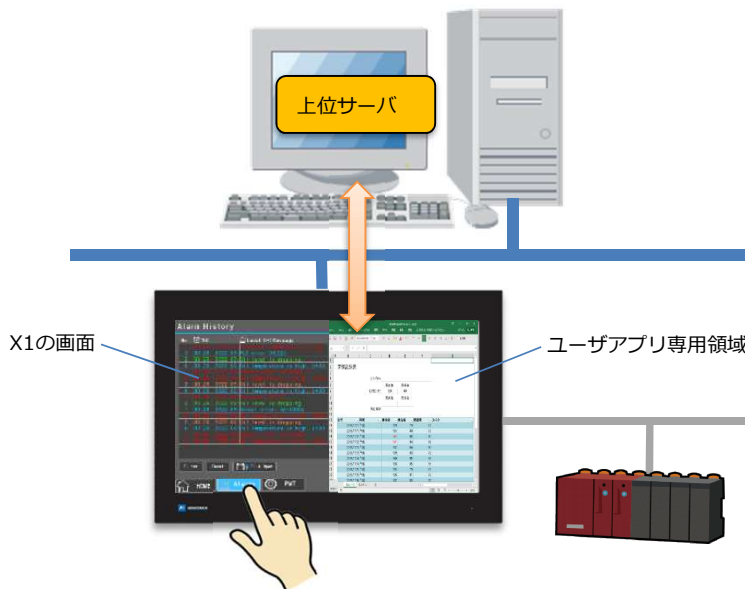
[システム設定] → [その他] → [アプリケーション起動] → [表示位置指定]、[ウィンドウサイズ指定]



■ 2分割表示 (ユーザアプリ専用領域)

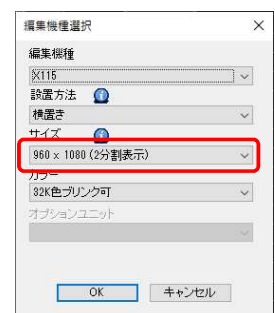
【概要】

X1上で片側半分をX1アプリ、残り半分をユーザアプリ専用領域として使用できます。上位サーバの生産管理情報をExcelやデータベースなどで常時表示しておきたい場合に、X1の画面を隠すことなく、表示/操作が可能です。今回対応したアプリケーション起動の表示位置/ウィンドウサイズ指定と一緒に使います。



【使い方】例 : X115 スイッチでアプリケーションを起動する

1. [システム設定] → [編集機種選択] → [サイズ] → 「960 x 1080 (2分割表示)」を選択します。
2. アプリケーション起動の設定をします。前述の『【設定箇所】スイッチの場合』参照。
3. 画面データを転送し、手順2のスイッチを押します。ユーザアプリ専用領域全体にExcelが表示されます。



* 詳しくは『X1リファレンスマニュアル2』8.4 アプリケーション起動参照

7 X1アプリ 外部USBメモリ対応

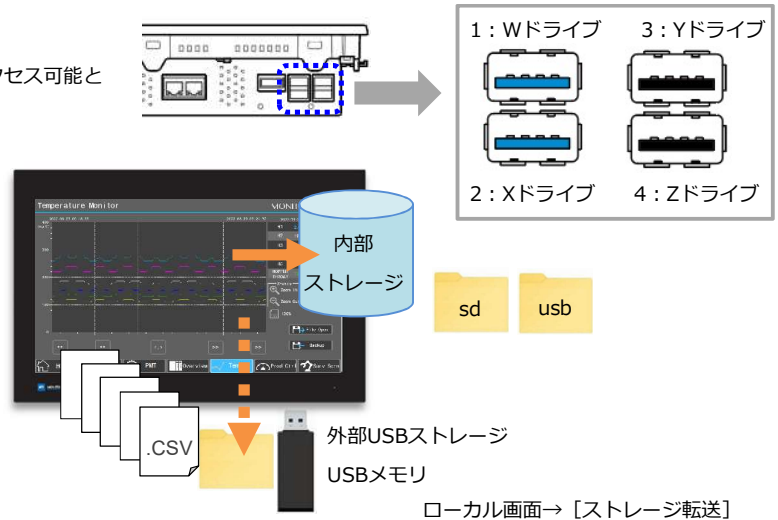
対応機種：X1

【概要】

Windows上だけでなく、X1アプリから直接USBメモリへアクセス可能となったため、以下のことができるようになりました。
X1のUSBポート1~4のドライブ名はW~Z固定です。

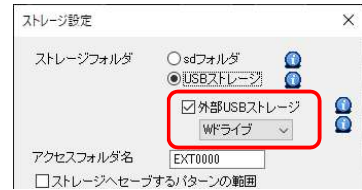
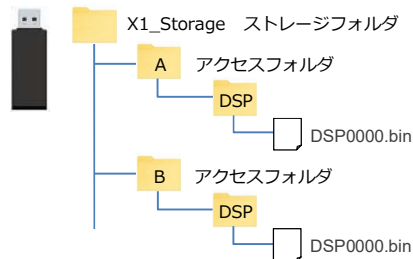
- ◆各機能の保存先、フォルダ/ファイルのコピーと移動先ロギングやアラームなどのバックアップの出力先として使用できます。
また、マクロコマンドCOPY_FILEなどを使用して、ストレージ間のフォルダ/ファイルコピー、移動もできます。

- ◆ローカル画面からの画面転送
複数の画面データをストレージに保管できるため、必要に応じてローカル画面で画面データを選択して、入れ替えることができます。



【必要な設定】

[システム設定] → [その他] → [ストレージ設定] → [外部USBストレージ] でドライブ指定



* 詳しくは『X1リファレンスマニュアル2』9 ストレージ参照

8 タスク一覧とスクリーンキーボード 表示方法の追加

対応機種：X1

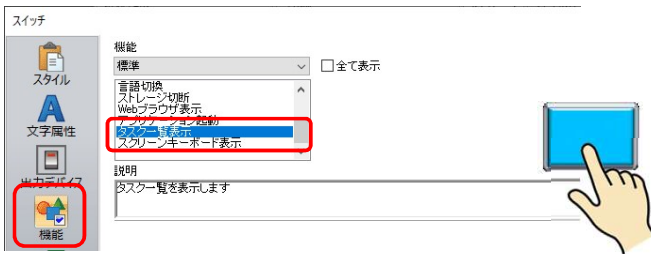
【概要】

タスク一覧/スクリーンキーボードを、画面上に配置したスイッチまたはPLC指令で表示することができます。
System Configurator画面の [タスク一覧]、[システムキーボード] の設定に関係なく、任意の画面、タイミングで表示できます。

【設定箇所】

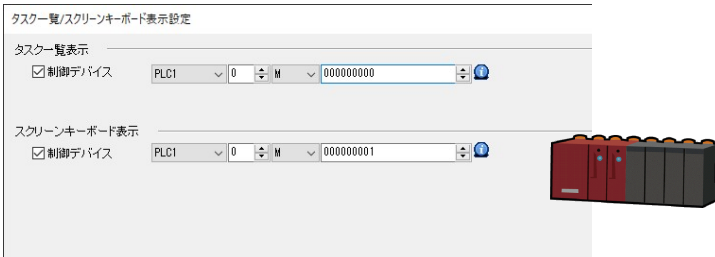
スイッチの場合

スイッチダイヤログ → [機能] → [タスク一覧表示] または [スクリーンキーボード表示]



PLC指令の場合

[システム設定] → [その他] → [タスク一覧/スクリーンキーボード表示設定]



* 詳しくは『X1リファレンスマニュアル2』

8.7 タスク一覧/スクリーンキーボード表示 参照

9 ライトフィルタ適用範囲の拡張

対応機種：X1

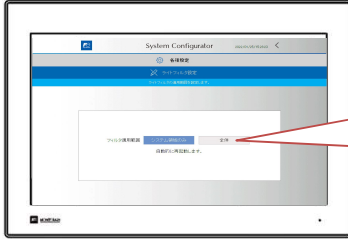
【概要】

ライトフィルタの適用範囲に「全体」が追加されました。内蔵ストレージ全てが書き込み禁止となり、外部からの不正な書き込みを防止します。

なお、従来のライトフィルタ適用範囲は「システム領域のみ」（デフォルト）となります。

【設定箇所】

System Configurator → [各種設定] → [ライトフィルタ設定] → [高度な設定] → [フィルタ範囲の設定]

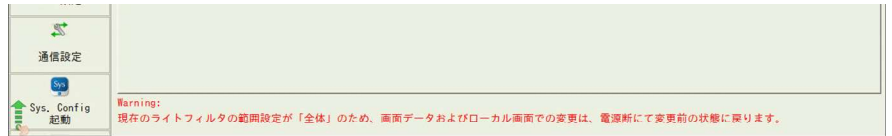


フィルタ適用範囲 システム領域のみ 全体

自動的に再起動します。



* 「全体」選択時、ローカル画面下に以下のメッセージが表示されます。



* 詳しくは『X1ハード仕様書』参照。

作画ソフト

1 Microsoft Windows 11対応

【概要】

Microsoft Windows 11に対応しました。

2 タグ編集ダイアログ タグ名の一括変更

【概要】

タグ編集ダイアログ→【置換】を使って登録したタグ名を一括変更できます。

【接続機種】

オムロン

・NJ シリーズ (EtherNet/IP)

BECKHOFF

・タグ ADS プロトコル(Ethernet)

Allen-Bradley

・ControlLogix/CompactLogix タグ

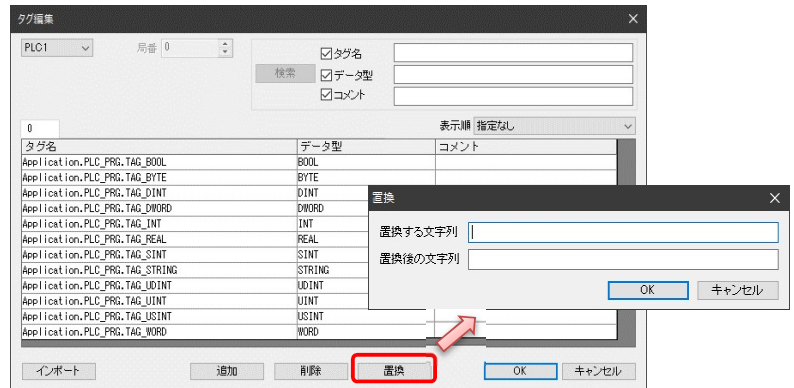
・ControlLogix/CompactLogix タグ(Ethernet TCP/IP)

・Micro800 Controllers タグ

・Micro800 Controllers タグ(Ethernet TCP/IP)

3S-Smart SoftwareSolutions

・CODESYS V3(Ethernet)



3 シンボル SiemensのPLCソフトTIA Portal Ver. 17対応

Siemens のソフトTIA Portal Ver. 17で作成したTIA プロジェクトファイル (*.ap17) をシンボルにインポート可能です。

4 ファイル比較 比較先画面の直接編集

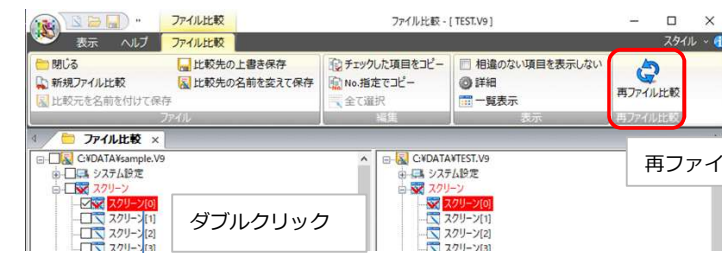
【概要】

比較結果の【詳細】ウィンドウから比較先画面データを開いて、直接不一致箇所の編集、保存ができます。

保存後、簡単に再ファイル比較も行えるため、不一致箇所の特定制から編集、保存までがスムーズに行えます。

【操作方法】

ファイル比較後、比較ウィンドウの不一致箇所をダブルクリック



ファイル比較時、【テキストで比較する】のチェックが必要です。



* 詳しくは『V9オペレーションマニュアル』参照

5 V-SFTのタイトルバー 画面データファイル名を先頭に表示

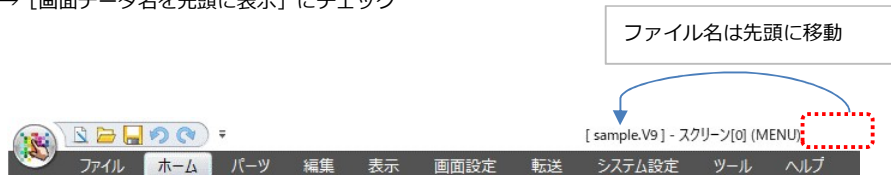
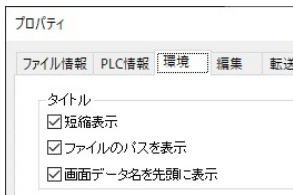
【概要】

V-SFTのタイトルバーに表示する情報で、画面データのファイル名を先頭に表示します。現在編集中のファイル名が確認しやすくなります。

【設定方法】

[ファイル] → [プロパティ] → [環境] → [画面データ名を先頭に表示] にチェック

例：以下の設定の場合

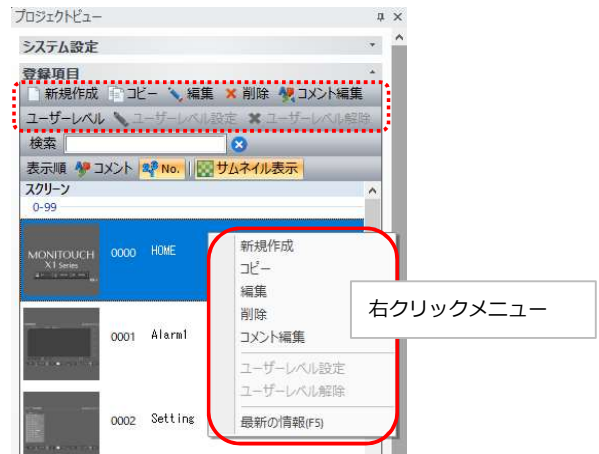


* 詳しくは『V9オペレーションマニュアル』参照

6 プロジェクトビュー 操作性向上

【概要】

プロジェクトビュー上部のメニューが右クリックメニューからも選択できます。

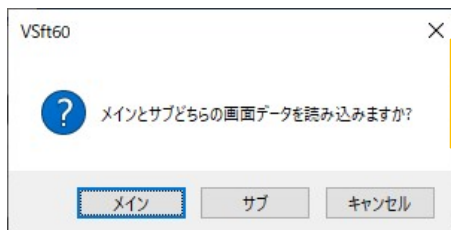


7 マルチディスプレイ 画面データ読み出し時の仕様改善

対応機種：X1

【概要】

X1から画面データ読み出し時、マルチディスプレイの画面データが転送されている場合*は、読み込む画面データの選択ができます。



* [システム設定] → [その他] → [マルチディスプレイ設定] → [異なる画面データを使用する] 設定時の画面データのみ、対象。